



# 合併10年 宗像ものがたり

— 合併検証報告書(ダイジェスト版) —

平成15年4月に旧宗像市と玄海町が合併し、新しい「宗像市」が誕生しました。さらに、平成17年3月に大島村と合併し、面積119.67km<sup>2</sup>、人口約9万6,000人となる現在の宗像市となりました。

最初の合併から10年という節目の年を迎え、合併成果検証を実施しました。市民のみなさんと合併の成果や今後の課題を共有するきっかけとするため、「合併検証報告書(ダイジェスト版)」を作成しました。

1 合併の背景

2 まちづくり年表

3 まちづくりマップ

4 行財政運営

5 これからの10年

## 合併の背景

- 旧宗像市、玄海町、大島村は、いにしえより宗像大社を中心とした文化を共有していました。買い物や通勤・通学、文化活動等の日常生活圏も一体化していたといえます。
- 旧宗像市の都市機能、玄海町や大島村の観光資源や歴史遺産などの3市町村の魅力を活かした「まちづくりの可能性」が広がる事が期待されていました。



宗像市



# 振り向けば 未来へ続く まちづくり

市には、豊かな自然環境と、沖ノ島や宗像大社などの歴史遺産、文化施設や大学などの都市機能があり、それら地域資源を活かしたまちづくりを行いました。  
さらに生活基盤の整備やコミュニティ施策の推進など、一体的なまちづくりを行っています。

## 宗像市の合併後10年間の主な事業

平成15年	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧宗像市・玄海町合併</li> <li>宗像市・大島村合併協議会設置</li> <li>「人づくりでまちづくり基金」設置</li> <li>日の里地区コミュニティ・センター増改築</li> </ul>	 <p><b>生活基盤の充実</b> 車での移動がスムーズとなるような幹線道路の整備や、歩行者が安全に通行できるような歩道の整備を行いました。また、玄海地域では下水道の整備を集中的に行い、普及率は10年間で20.5%から80.5%へと上昇しました。</p>
平成16年	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉武地区コミュニティ・センター増改築</li> <li>「宗像市男女共同参画推進条例」制定</li> <li>「第1次行財政改革大綱・行財政改革アクションプラン」策定</li> </ul>	
平成17年	<ul style="list-style-type: none"> <li>宗像市・大島村合併</li> <li>「離島振興基金」設置</li> <li>「まちづくり交付金制度」開始</li> <li>「第一次宗像市国土利用計画」策定</li> <li>「第一次宗像市総合計画」策定</li> <li>「市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例」制定</li> </ul>	
平成18年	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所本庁舎北館を増設</li> <li>小中一貫教育研究指定校開始</li> <li>東郷地区コミュニティ・センター開館</li> </ul>	 <p><b>文化芸術の振興</b> いにしえより、航海術に長けた「宗像人」は、大陸との交流を重ね、豊かな歴史と文化芸術を育んできました。それは「文化芸術振興条例」「文化芸術のまちづくり10年ビジョン」のもととなっています。旧宗像市の文化施設「宗像ユリックス」を中心に、文化芸術の振興を通じたまちづくりを行っています。</p>
平成19年	<ul style="list-style-type: none"> <li>「市民サービス協働化提案制度」開始</li> <li>赤間地区コミュニティ・センター開館</li> <li>大韓民国金海市姉妹都市締結15周年記念式典</li> <li>市民活動交流館を開館</li> </ul>	
平成20年	<ul style="list-style-type: none"> <li>「道の駅むなかた」オープン</li> <li>市内3大学連携「むなかた協働大学」開校</li> <li>宗像ユリックス20周年記念事業開催</li> </ul>	
平成21年	<ul style="list-style-type: none"> <li>「宗像・沖ノ島と関連遺産群」ユネスコの世界遺産暫定リストに記載</li> <li>JR赤間駅北口駅前広場供用開始</li> <li>旅客船「しおかぜ」就航</li> <li>「文化芸術振興条例」「むなかた文化芸術のまちづくり10年ビジョン」策定</li> </ul>	
平成22年	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第2次行財政改革大綱・行政経営改革プラン」策定</li> <li>大島地区コミュニティ・センター開館</li> <li>ブルガリア共和国・カザンラック市とパートナーシップ協定を締結</li> <li>「宗像・沖ノ島世界遺産市民の会」設立</li> </ul>	 <p><b>学校教育の振興</b> 小・中学校の共通した教育目標の達成に向け、全中学校区で小中一貫教育を推進しています。また、学校施設の大規模改修、小中学校での給食の自校式調理を実施しました。</p>
平成23年	<ul style="list-style-type: none"> <li>「うみんぐ大島」オープン</li> <li>「緊急情報伝達システム」運用開始</li> <li>岬地区・池野地区コミュニティ・センター開館</li> <li>コミュニティバスの運行開始</li> </ul>	
平成24年	<ul style="list-style-type: none"> <li>渡船航路の再編</li> <li>「子ども基本条例」制定</li> <li>「海の道むなかた館」オープン</li> <li>玄海地区コミュニティ・センター開館</li> <li>神湊ターミナルを整備</li> </ul>	
平成25年	<ul style="list-style-type: none"> <li>「子ども相談センター」開設</li> <li>河東地区コミュニティ・センター開館</li> </ul>	

## 世の中の主な出来事

<ul style="list-style-type: none"> <li>米英によるイラク侵攻作戦開始</li> <li>郵政事業庁が日本郵政公社に</li> <li>プロ野球の阪神タイガースが18年ぶりにリーグ優勝</li> <li>地上デジタルTV放送が東京、大阪、名古屋で放送開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山口県で日本国内79年ぶりの鳥インフルエンザが発生</li> <li>自衛隊イラク派遣開始</li> <li>アテネオリンピック開催</li> <li>千円札、五千円札の新紙幣発行</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>愛知万博開催</li> <li>JR福知山線での脱線事故により死者107名</li> <li>郵政民営化法が可決・成立</li> <li>マンションなどの耐震偽装発覚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冥王星が太陽系の惑星から除外</li> <li>トリノオリンピック開催</li> <li>第一回WBCで日本が優勝</li> <li>安倍内閣発足</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>43年ぶりに全国学力調査を実施</li> <li>年金記録漏れが5千万件判明</li> <li>新潟中越沖地震が起き、柏崎原発で火災</li> <li>福田内閣発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後期高齢者医療制度の開始</li> <li>北京オリンピック開催</li> <li>米国発金融危機が拡大</li> <li>ノーベル物理学賞に南部氏、小林氏、益川氏</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>オバマ米大統領就任</li> <li>日本がWBC連覇</li> <li>裁判員制度がスタート</li> <li>鳩山内閣発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東北新幹線全線開業</li> <li>バンクーバーオリンピック開催</li> <li>子ども手当の支給開始</li> <li>菅内閣発足</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災の発生</li> <li>福島第一原発で冷却不能になり原子炉建屋で爆発事故</li> <li>サッカー女子日本代表がW杯で世界一に</li> <li>野田内閣発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京スカイツリー開業</li> <li>ロンドンオリンピック開催</li> <li>消費税増税法成立</li> <li>第二次安倍内閣発足</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>安倍首相TPP交渉参加表明</li> <li>富士山が世界遺産に登録</li> </ul>	



**コミュニティ施策**  
旧宗像市で進めていたコミュニティ施策を、玄海地域、大島地域に拡大しました。市内12地区のコミュニティ・センターを整備し、一定の財源と権限を移譲する「まちづくり交付金制度」を開始しました。地域行事や住民の交流が活発化し、地域の一体感の形成に繋がっています。



**離島の特徴を活かした離島振興**  
大島では歴史遺産やうみんぐ大島を活かした観光振興、地島では「じのしま漁師食堂」や「地引網体験」など、島の特徴を活かした賑わいづくりを行っています。また、「離島振興基金」を設置し、市民活動団体などと協働で島の活性化に取り組んでいます。



**食・自然・歴史を活かした観光**  
農業、漁業という豊かな資源と観光を融合させた観光拠点施設「道の駅むなかた」には、新鮮な農産物や海産物を求めて市外からも多くの買い物客が訪れています。また、宗像大社などの歴史遺産や離島などの自然環境を活かしたイベントや観光ツアーなどを実施しています。



**子育て環境の充実**  
保育所定員の増加や乳幼児・子ども医療費助成の対象拡大などを実施しています。子ども施策の指針である「子ども基本条例」を制定し、子どもの体験や交流、発表の機会の充実や子どもの権利を守る「子ども相談センター」を設置しました。



**世界遺産登録活動の推進**  
沖ノ島等の貴重な歴史文化遺産を未来に引き継ぐため、世界遺産登録活動を進め、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」がユネスコ世界遺産暫定リストに記載されました。「宗像・沖ノ島世界遺産市民の会」による市民参加型ミュージカル「宗像三女神記」など、市民協働での登録活動を推進しています。